

あすなる通信

茅ヶ崎高校校長だより
No.26 令和元年5月9日

茅ヶ崎高校の新たな歴史がスタートします

4月6日(土)に、全日制第71回、定時制第72回入学式が行われました。全日制299名、定時制16名の新しい仲間が新たに「茅高」のメンバーに加わりました。入学式でお伝えしたように、定時制昇降口の前にある桜は、昨年12月に70周年記念事業として、PTAのOB・OG会である「あけぼの会」から記念植樹されたものです。新入生の皆さんと一緒に初めての春を迎え、きれいな花を咲かせてくれました。

平成の時代が終わり、5月からは令和となりました。茅ヶ崎高校の歴史も、また新たな1ページが始まっていきます。新入生の皆さんと上級生の皆さんが力を合わせて、茅ヶ崎高校をさらに発展させていきましょう。

新年度がスタートするにあたって、皆さん自身に取り組んでほしいことと、学校として取り組みたいことを伝えたいと思います。

[皆さん自身に取り組んで欲しいこと]

○想いを形に ～初めの一步を踏み出そう～

高校入学前にやりたかったこと、高校生活の中でやりたいと思ったこと、卒業後の進路など、自分の「想いを形に」するために、どんな小さな一歩でも良いので、初めの一步を勇気を持って踏み出しましょう。

[学校として取り組みたいこと]

○すべての生徒にとって、居心地のよい学校・学級づくり

～「困った」ときに、「困った」と言える環境づくり～

人は誰でも、得意なこともあれば、苦手なこともあります。もし、何か困ったことがあったときに、自分一人で悩まずに、「困った」と言える学校や学級を作りましょう。

自分の悩みを誰かに伝えられた時、その悩みはきっと半減しているのではないのでしょうか。そして、その仲間の「困った」の解決方法をみんなで考えていきましょう。

☆これまでの「あすなる通信 No1～25」は、茅ヶ崎高校のHPに掲載してあります。よろしければ、ご覧ください。



茅高ニュース ～茅高よ、世の荒波を分けて進め～

茅ヶ崎高校の新たな歴史が始まります

昭和23年4月に茅ヶ崎市立茅ヶ崎高校としてスタートした「茅高」は、昭和26年に神奈川県立茅ヶ崎高校として生まれ変わり、今日に至ります。昨年、創立70周年を迎えた茅ヶ崎高校は、茅ヶ崎・寒川地区で最も伝統ある高校です。4月20日が本校の開校記念日となっています。

今年度も茅ヶ崎賞の表彰を行います

一昨年度から始めた、目立たない所でがんばっている生徒を表彰する「茅ヶ崎賞」の表彰を、今年度も学年末に行います。昨年度は、全日制では、リソースルームの教室表示を作ってくれた生徒、国語の漢字テスト24回および特別回2回のすべてで満点を取った生徒、清掃に熱心に取り組んだクラスを表彰しました。また、定時制では、毎日早く登校し教室整備に努め、学習にもまじめに取り組んだ生徒を表彰しました。

皆さんの近くにも、目立たないところでがんばっている生徒はたくさんいると思います。みんなで、そのような活躍を見つけていきたいと思います。3学期になったら、皆さんと先生方からの推薦を受け付けますので、今年にはたくさんの茅ヶ崎賞の表彰ができるとよいと思います。

[全日制]

共生社会講話会を実施しました

4月11日(木)、1年生を対象として、大学の先生より「しょうがいどく吹く風」と題して、障がいも個性の一つであるという話をしていただきました。

また、4月19日(金)には、全校生徒を対象として、TBSのアナウンサーの方からは自身の取材体験に基づく人種差別などの話を、また全盲の新聞記者の方からは障がい者に対する差別などの話を聞かせていただきました。

[定時制]

部活動紹介で新入部員を勧誘

4月9日(火)、新入生と在校生の対面式を行いました。また、対面式のあとは、先輩や先生から新入生に対する部活動紹介を行いました。定時制の授業が終わるのは夜の9時を過ぎてしまいますが、一人でも多くの生徒が部活動に参加してくれるとよいと思います。